

東久留米の野草 7月・8月No.1(7月から8月に花を咲かせた主な野草)

※タシロラン(7月3日):環境省で(NT)準絶滅危惧種指定。市内では複数カ所群生地あり。※オオバトシロラン(7月3日):市内では盗掘もあり環境変化も伴い観察が難しくなっている。※ダイコンソウ(7月3日):急激に数を減らしている種類。※ナガバジャノヒゲ(7月7日)。※ヒメヤブラン(7月6日)。※キカラスウリ(7月6日):生育地での頻繁な草刈りにより数を減らしている。



ラン科タシロラン



ラン科オオバトシロラン



バラ科ダイコンソウ



ダイコンソウの花



キジカクシ科ナガバジャノヒゲ



キジカクシ科ヒメヤブラン



ウリ科キカラスウリ

東久留米の野草 7月・8月No.2(7月から8月に花を咲かせた主な野草)

※コケオトギリ(7月7日): 昨年出会った植物で生育数は少ない。※ヤブカンゾウ(7月7日): ノカンゾウより多いが開花する個体が減少傾向。※ヤマホトトギス(7月7日): 林縁部の個体は元気に開花するが林内では徐々に衰退。※ヤマユリ(7月7日): 市内では減少傾向。近い将来、絶滅が危惧される。主な要因は盗掘。※オニユリ(7月12日): ムカゴで増えるため適所では群生。※コバノカモメヅル(7月12日): 市内での生育数は少ない。



オトギリソウ科コケオトギリ



ススキノ科ヤブカンゾウ



ユリ科ヤマホトトギス



ユリ科ヤマユリ



ユリ科オニユリ



ガガイモ科コバノカモメヅル

東久留米の野草 7月・8月No.3(7月から8月に花を咲かせた主な野草)

※ニガクサ(7月19日):市内の生育地は少ないが個体数が多い。※ミョウガ(7月19日)。※ヒヨドリジョウゴ(7月19日):この植物全体が毒。※ムラサキツメクサとセッカツメクサ(7月19日)。※ウバユリ(7月21日):北斜面のあるような湿潤な場所で観察できる。※ナガエコミカンソウ(7月21日):外来種。



シソ科ニガクサ



ショウガ科ミョウガ



ナス科ヒヨドリジョウゴ



マメ科ムラサキツメクサ、白色／セッカツメクサ



ユリ科ウバユリ



コミカンソウ科ナガエコミカンソウ

東久留米の野草 7月・8月No.4(7月から8月に花を咲かせた主な野草)

※ウリクサ(7月21日):畑などの片隅で観察できる。※ノササゲ(7月21日):市内絶滅危惧種。※ツルニガクサ(7月21日)絶滅危惧も新たな生育地追加。※コバギボウシ(7月23日):生育地が限られており減少傾向。※オトギリソウ(7月23日):萌芽更新などで種が目覚める事がある。市内絶滅危惧種。



アゼナ科ウリクサ



マメ科ノササゲ



シソ科ツルニガクサ

※クズ(7月23日):大型の蔓性植物。



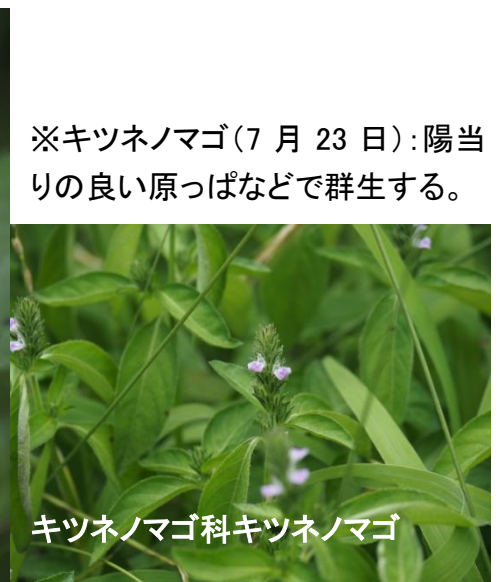
マメ科クズ



キジカクシ科コバギボウシ



オトギリソウ科オトギリソウ



※キツネノマゴ(7月23日):陽当りの良い原っぱなどで群生する。

キツネノマゴ科キツネノマゴ

東久留米の野草 7月・8月No.5(7月から8月に花を咲かせた主な野草)

※タラノキ(7月28日):タラの芽を食すが花を見る機会は少ない。※オオケタデ(7月28日):草刈りなどで観察が難しい。※ブタクサ(7月28日):外来種。市内では減少傾向。※コミカンソウ(7月29日):在来種。小さな花を咲かせ果実が熟すと正にミカンそのもの。※ミズヒキ(7月29日)。※ツリガネニンジン(7月29日):数少ないキキョウ科の植物で減少傾向。※ゲンノショウコ(7月29日):花は紅白があり関東は主に白花。



ウコギ科タラノキ



タデ科オオケタデ



キク科ブタクサ



コミカンソウ科コミカンソウ



タデ科ミズヒキ



キキョウ科ツリガネニンジン



フウロソウ科ゲンノショウコ

東久留米の野草 7月・8月No.6(7月から8月に花を咲かせた主な野草)

※ママコノシリヌグイ(7月31日):数少ない在来種の一つ。※センニンソウ(8月2日):同じ仲間でボタンヅルなどが生育。※ヤブラン(8月2日):多くの雑木林で観察可能。※ヤマノイモ(8月2日):自然薯や山芋とも呼ばれる。※ミゾホオズキ(8月2日):市内が自然豊かな時代にはオオバミゾホオズキも観察できたようだ。※メヤブマオ(8月2日):同じ仲間のヤブマオも観察できる。※カノコユリ(8月2日):移植されたものだが可憐で素敵な色合い。



タデ科ママコノシリヌグイ



キンポウゲ科センニンソウ



キジカクシ科ヤブラン



ヤマノイモ科ヤマノイモ



ハエドクソウ科ミゾホオズキ



イラクサ科メヤブマオ



ユリ科カノコユリ

東久留米の野草 7月・8月No.7(7月から8月に花を咲かせた主な野草)

※ツルボ(8月3日):陽当りのよい林縁部などで観察。※イシミカワ(8月3日):草刈りなどで減少傾向。※タマアジサイ(8月3日):山地性で生育地限定。
※キンミズヒキ(8月3日):生育数は少ない。※ミゾカクシ(8月3日):生育地が限られる貴重種。※アマチャヅル(8月4日):雑木林で多数観察。



キジカクシ科ツルボ



タデ科イシミカワ



アジサイ科タマアジサイ



バラ科キンミズヒキ



キキョウ科ミゾカクシ(別称アゼムシロ)



アマチャヅルの花



ウリ科アマチャヅル

東久留米の野草 7月・8月No.8(7月から8月に花を咲かせた主な野草)

※ガガイモ(8月11日):ヒトデの様な独特な花輪咲かせる。※シラヤマギク(8月17日):例年より半月ほど早く開花。※ミズタマソウ(8月17日):果実の形体から命名されたとの事。※ノシラン(8月17日):鳥の影響か?増加傾向。※ノハラアザミ(8月17日):野原の減少にともない開花数も減少。森の中では開花が難しい状態。※アメリカタカサブロウ(8月17日):在来タカサブロウは稀に観察。※コヤブタバコ(8月17日):生育地は複数も数が少ない。



ガガイモ科ガガイモ



キク科シラヤマギク



アカバナ科ミズタマソウ



キジカクシ科ノシラン



キク科ノハラアザミ



キク科アメリカタカサブロウ



キク科コヤブタバコ



コヤブタバコの花

東久留米の野草 7月・8月No.9(7月から8月に花を咲かせた主な野草)

※イヌゴマ(8月18日):川沿いなどで見られるが減少傾向。※ミクリ(8月18日):市内の河川で観察できる。※アキノノゲシ(8月22日):人の背丈より大きくなることから草刈りなどで減少傾向。※オミナエシ(8月22日):市内では絶滅? ※ネコハギ(8月22日):生育数が多いが開花する個体は少ない。※キツネノカミソリ(8月22日):生育地は複数個所あるが大幅に数を減らしている。※ミゾソバ(8月22日):7月頃開花するが異常気象?で5月頃開花もある。



シソ科イヌゴマ



ミクリ科ミクリ



キク科アキノノゲシ



オミナエシ科オミナエシ



マメ科ネコハギ



ヒガンバナ科キツネノカミソリ



タデ科ミゾソバ

東久留米の野草 7月・8月No.10(7月から8月に花を咲かせた主な野草)

※カナムグラ(8月22日):雌雄異株。雄花の方が早い時期から開花。※ニクイロシュクシャ(8月22日):原産地はインドなど。※トネアザミ(8月22日):生育場所が限られて減少傾向。※ソクズ(8月22日):市内では湿潤な場所で生育しており白く小さな花が果実になると緑から黄色、朱色へと変化。



アサ科カナムグラ(雄株)



カナムグラの雄花



ショウガ科ニクイロシュクシャ



キク科トネアザミ(別称タイアザミ)



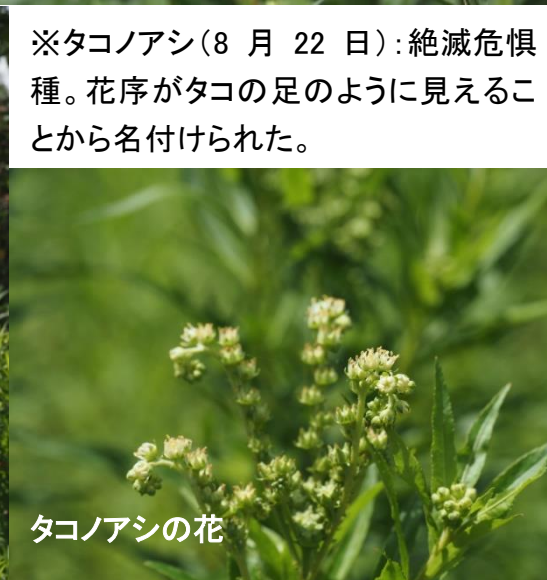
スイカズラ科ソクズ



トウダイグサ科オオニシキソウ



タコノアシ科タコノアシ



タコノアシの花

※オオニシキソウ(8月22日):北米産の外来種。適地では群生する。

※タコノアシ(8月22日):絶滅危惧種。花序がタコの足のように見えることから名付けられた。